



「那須烏山市」

山あげ祭などの 歴史・文化遺産と美しい景観に恵まれた街

県内探訪

名所を歩いて

西 東

TOCHIGI

那須烏山市

豊かな自然や歴史的遺産を通じて県内各市町の姿をご紹介します。今回は那須烏山市をご紹介します。

那須烏山市を歩く

「木漏れ日たっぷり 健脚コース」



コースガイド



平成 25 年の和食、26 年の和紙の登録で注目を浴びている、ユネスコの(世界)無形文化遺産。平成 26 年 3 月に国は、「山・鉾・屋台行事」と題して全国 33 の行事を新たに登録申請しました。ここに含まれたのが、那須烏山市の「烏山の山あげ行事」です(審査は平成 28 年の見込み)。

山あげ行事(山あげ祭)は、毎年 7 月に行われる八雲神社の例大祭の奉納行事で、450 年の歴史を誇ります。市街に築かれた舞台上で演じられる歌舞伎や神楽は野外劇として日本一の規模といわれますが、さらに特徴的なのは、この舞台は解体・移築を繰り返し、市内を巡行していく点。こうしたユニークさが評価され、昭和 54 年には国の重要無形民俗文化財に指定され、今回は国を代表する行事の一つに選ばれました。

那須烏山市では、こうした歴史・文化遺産に加え、那珂川・荒川のすんだ清流と緑豊かな里山、温泉などの恵まれた観光資源を活かして、一層の発展をめざしています。



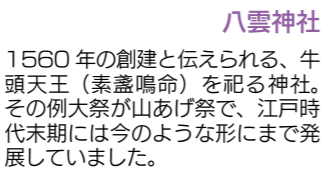
龍門の滝

那珂川に注ぐ江川にかかる、高さ 20 m・幅 65 m の滝。「大蛇が棲む」との伝説がその名の由来で、年末にはライトアップも行われます。



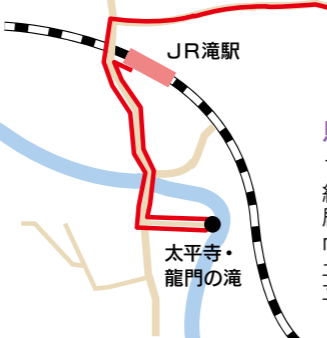
愛宕台緑地公園

愛宕山山頂の小じんまりとした公園ですが、四季折々、市街地を一望にできる景観が魅力。山頂へ続く道路は桜の名所で、周辺には運動施設なども整備されています。



八雲神社

1560 年の創建と伝えられる、牛頭天王(素戔嗚命)を祀る神社。その例大祭が山あげ祭で、江戸時代末期には今のよう形にまで発展していました。



烏山城跡

1418 年の築城後、16 世紀まで下那須氏・那須氏の居城とされた城。標高 202 m の八高山の山頂に石垣・土塁などの遺構が残り、県立自然公園とされています。



烏山和紙会館

大正 12 年に開業の旧烏山病院の建物を再生した館内では、烏山和紙の手すきの工程や和紙に関する展示を行っています。手すき教室や烏山和紙を使った手創り教室を体験できます。

島崎酒造

1849 年の創業で、銘酒「東力士」で知られる蔵元。熟成酒の貯蔵庫・どうくつ酒蔵は映画「魍魎の匣」のロケ地となりました。



山あげ会館

武家蔵風の白壁の建物で、館内はロボットのお爺さんの語り部や、ミニチュア屋台による山あげ祭の再現、実際の屋台の常設展示など、工夫を凝らした展示が人気です。

JR 烏山駅

大正 12 年開業の木造の旧駅舎に代わり、平成 26 年 3 月に改築された新駅舎の屋根は、山あげ祭の「山」をあげる瞬間をイメージしています。

●那須烏山市

県東部に位置する那須烏山市は、平成 17 年 10 月に、那須郡の旧南那須町と旧烏山町の合併により誕生しました。今年ちょうど市制 10 周年にあたります。那珂川や荒川の豊かな清流と八溝山系の里山などの自然環境に恵まれて、観光業や畜産を軸として発展してきた那須烏山市ですが、山あげ祭の(世界)無形文化遺産への登録申請などにより、全国的な知名度のさらなる向上も期待されています。

- ・面積：174.35 平方 km
- ・人口：28,291 人(10,596 世帯)

那須烏山市といえば...

コレ!



「中山かぼちゃ」

皮が薄く、果肉は濃いオレンジ色できめ細かく、さつまいものようなほくほくとした食感が特徴のかぼちゃです。50 年以上も昔から中山地区の農家が自家消費用に作っていた品種が由来とされ、品質維持のため種子は J A で管理するので流通量は多くありませんが、最近はその味わいを活かして中山かぼちゃアイスクリームなども開発されています。

那須烏山市の見どころ

◆和紙の里

清らかな水を背景に、当地一帯では和紙や酒などが発展してきました。その代表が、奈良時代以来の歴史を持つ烏山和紙です。和紙の里はそうした伝統的手法で作る紙すき場の見学や紙すき体験のできる施設です。



◆どうくつ酒蔵

第 2 次世界大戦中の戦車の地下工場跡を活かして造られた島崎酒造の酒の貯蔵庫で、現在はイベントや映画の撮影に利用されたりもします(要予約で見学可)。

◆大金吊り橋

那珂川の支流・荒川に架かる長さ 97 m の人道橋で、片側のみに主塔を有し、ロープを 1 本も使わない非対称形の世界でも珍しい PC 吊り橋です。展望台からの景色も一見の価値あります。

◆大金駅前観光交流施設

4 月 18 日にオープンしたばかりの観光情報施設。観光案内所や農産物等の即売、地域交流室などがあります。1978 年に近くで発見された「大金クジラ」の化石に因み建物はクジラをモチーフにしています。

◆萬さろん

明治初期に建てられた、古い商家の土蔵づくりの建物で、現在は烏山焼きなどのギャラリーとなっています。

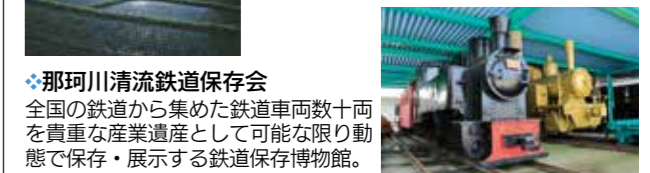


◆境橋

那珂川に架けられた長さ 112 m のアーチ橋。橋脚上に半円形のバルコニーが左右対称に設けられた全国でも珍しい構造で、平成 19 年に土木学会選奨の土木遺産に認定されました。京都の嵐山に似た周囲の景観から、「関東の嵐山」とも呼ばれます。

◆国見の棚田

自然の地形を生かした昔ながらの水田で、平成 11 年には「日本の棚田百選」の一つにも選ばれました。



◆那珂川清流鉄道保存会

全国の鉄道から集めた鉄道車両数十両を貴重な産業遺産として可能な限り動態で保存・展示する鉄道保存博物館。

◆観光やな

那珂川・荒川には複数の観光やながかけられており、鮎や鯉のやな漁を体験したり、川魚料理を楽しむことができます。